

バドミントン部 女子ダブルス九州大会出場!!



5月28日(土)～5月30日(月)にべっぷアリーナで第70回大分県高校総体バドミントン競技が行われました。

本校は個人戦女子ダブルスにおいて、詫間琉菜、詫間玲菜(共に看護教養3年)が九州大会の出場を決めました。

この二人は、昨年度大分県新人戦で優勝しており、本校バドミントン部初のインターハイ出場の期待を背負って奮闘しましたが、目標に一步及ばず3位という結果終わりました。

試合後二人は、「インターハイ出場を逃したため、悔しい気持ちでいっぱいです。九州大会では最高のプレーができるよう頑張りたいです。」と話しています。監督は、「これまでやってきたことを出せた場面では相手を圧倒しており、力が足りないということではない。最後まで最大の力を出せるよう、気持ちを整えて九州大会に臨ませたい。」とのことでした。

今大会では、女子団体戦で3位、女子ダブルスで3位及びベスト8、女子シングルスでベスト8と女子の活躍が目立ちました。

個人戦女子ダブルスの出場が予定されている九州大会は、6月17日(金)～20日(月)に大分県武道スポーツセンターで行われます。